

こんなわけで、子供の躰けから
出発したスパンキングは、夫
婦間の快感増進から高
校生のセツ



パンキングが、アメリカから輸入されたもの
なのか、ヨーロッパ自体の伝統の中から
息を吹き返し、現代的な形になっ

彼らは、フアン若いの子たちとパドル
クラブを結成している。参考までに、クラブ
の会則をご紹介します。

- ①相手のからだに傷をつけるは
どたたいはならない。
- ②衣服をつけたまま行な
うこと。
- ③同性同志のスパンキン
グは行なわないこと。
- ④道具は木製品か皮製品
に限ること。
- ⑤生理中の女性は参加を遠慮すること。

クス遊戯まで、さまざま
まな形をとりながら全米に
拡がっているのが現状である。

・スパンキングの家

アメリカよりもヨーロッパで盛ん……

スパンキングそれ自体は、アメリカよりむ
しろヨーロッパにむかしからあった習慣だ。

一世紀ほど前には、女中が仕事の上でミス
をしたり、下男とこっそり情を通じたりした
場合、主人夫婦がスパンキングで罰を加える
ことがよく行われた。

浮気をした妻をこらしめるために、亭主が
スパンキングをする話もよくあった。
だから、現在ヨーロッパで流行しているス

たものか、そのへんのところは、ま
ったくわからない。

とにかく、イギリスあたりでは、若い世代
の間でスパンキングの流行が、アメリカに負
けぬほどずさまじい。

もっとも激しいところは、ロンドンとリバ
プールである。リバプールといえばビートル
ズを生んだ若者のメッカだ。本家のビートル
ズはすでに落ち目だが、第二、第三のビート
ルズを目指す長髪のアンチチャンたちが、電気
ギターをかきならし、ドラムをたたく手で、
女性のお尻までひっぱたいしているわけだ。

ざっとこんなところである。クラブのパー
ティもバンド演奏つきで行なうことが多い。

参加者が手に手にピンポンのラケットをにぎ
り、バンドの演奏に合わせて激しく踊りなが
ら、近くにいる異性のヒップをたたくわけだ
他愛がないといってしまうまでもだ。
全身運動のダンスにスパンキングが加わるの
で、興奮は倍増するようだ。

「踊っているとときスパンクされたら、処女の
まま家に帰れないわ」
クラブの女の子が、そう告白しているのだ
からたしかな話である。

スパンキングの道具は、パドル(ピンボン
のラケット)のほか、テニスのラケット、皮
のむち、ドラムのスティックなどが用意され
るが、野外的場合は、よくしなう木の枝など
を即席で用いることもあるそうだ。

イギリスの学校では、以前から先生
が生徒に罰を与えるため、皮鞭やラ
ケットでスパンキングをするこ
ろがあった。

これを最近では、生徒同士
が自分で行なうようになった。



むろん罰を与え
るためではな
い。楽しむためである。

ロンドン郊外のある高校では、新入生をパ
ドリングする習慣がある。手に手にラケット
をにぎった男女の上級生が体育館や裏庭に二
列にならび、その間を男女の新入生がぞろぞ

る通る。このとき、男の上級生は女の下級生
を、女の上級生は男の下級生を、ラケットで
スパンキングする。

上級生の人数が多いから、下級生
はいくつスパンク

歩けなくなるほど打たれた下級生は、それだ
けもてた訛ねなのだ。

いったいに男の生徒よりも女の生徒の方が
スパンキングに強い。おなじ数打たれた場合
くたばるのはきまって男の方だ。一度女
の新入生が体育館のまん中にしゃがん
だまま動けなくなったが、これは興奮
のあまり失神したためだった。
学生や長髪族にかぎらず、イギリス
の紳士淑女もけっこうスパンキングが
お好きなようだ。

ロンドンの裏町には、「スパンキング
の家」がいくつもある。ここには、ス
パンキングの専門家がいて、客のお尻を
のぞむだけ、思うぞんぶんに、ひっぱ
たいしてくれるのだ。

場合によっては、客が店のものをス
パンクすることもある。

こうした店は、もともとサディスト
やマゾヒストが訪れる特殊な場所だっ
たが、最近では一般市民の利用者がか
なり多い。

定期的に来て、たがいにスパンキン
グを楽しむ若いペアや、夫婦も、けっ
こういるそうだ。

■映画「伯爵夫人」より

されるかわからない。しかし、お尻がはれて